

# たいむ

2月号 (H26.2.4 発行)

## ■みんなでもちつきをするのは、大変だけど必要だ！■

1月18日(土) たいむでもちつきをしました。連絡・詳細の発表がぎりぎりになってしまったので「みんな来るかな？」と少し心配をしていました。また、当日は朝から雪が降っており、子どもたちが前日から楽しみにしていたので、中止にできず、どうしてもやりたいという気持ちもありました。その強い気持ちが通じたのか、子どもたちが来る頃には雪も止んでお日様が出ていました。当日は、予想以上にたくさんの方が参加してくれ、とてもビックリしたのと同時に嬉しかったです。



しかし…餅つきのもち米をふかすところからやるのは、じつはこの日が初めてで「こんな感じかな?」「この鍋で蒸かせるのかな?」と私たち自身、たくさんの不安を抱いていました。こんなにたくさんの方が参加してくれているのに期待を裏切ってはいけないと思いながら、初めからつくのではなく、回りながらもち米を潰していくことなど、現場で働いている時、こんな感じだった…と試行錯誤しながらやっていました。どのくらいの時間、米を蒸かしていいのかわからず、やわらかすぎてしまいドロドロの餅になりました。次にやわらかすぎてしまわないようにちょっと早めに蒸し器から出すと、今度は蒸し器から出すのが早すぎたのか芯が残ってしまいました。

つくことより蒸かす方(加減)が難しいのではないかと感じました。四苦八苦している私たちとは裏腹に子どもたちは「ペタンするー！」と自分の番はまだかまだかと嬉しそうに臼の横に列を作っていました。

また、その子どもたちを優しく見守るお父さん方。普段のたいむにはお父さんがあまり来ないので、今回のもちつきでお父さんと子どもたちのかかわりを見ることができ、とても新鮮でした。お父さんも子どもたちの前で張り切って餅をついていました。そして、次第に、子どもたちはもちつきよりも食べることに。食べることよりも砂遊びをする方が楽しくなっていくようでした。

この日はオープンカレッジが行われていて、高校生も参加してくれました。今ではこのような機会がないとなかなかもちつきもしないので、このように子どもたち・保護者・学生・スタッフが入り混じって、初めての経験をし、試しながらでしたが、おいしい餅をつくことができよかったと思います。また、たくさんのお父さんが参加してくれたのでこれからもお父さんが気軽に参加できるような、たいむに来れるような企画を考えていきたいと思いました。(の)

## ■答えがないからこそおもしろい！？■

私事ですが、先日、息子がやっと「卒乳」しました。どうしても授乳できない状況になってしまいこれはチャンスかと思い、息子には突然のことで申し訳なかったのですが、卒乳に向け、戦うことにしました。

私が決めた時、たいむでもこの話がお母さん方の中でありました。みなさん、上のお子さんで経験済だったので、いろいろ方法やお話を聞くことができました。「3日泣いたら諦めるっていうよ」「自分は出かけて、旦那さんに任せたりもしたよ」「私も今、頑張ってるよ」と…。また、その卒乳をする少し前に夜泣きがひどくて夜も眠れないくらいの日が続き、抱っこ、授乳、テレビの音、水道の音、好きな音楽を流す…息子の好きな物をあらゆる手を使って試してみたのにまったくきかず…もう方法はないと私自身が嫌になり、自分の息子が嫌いになりそうな気持ちにもなりました。仕事が終わって保育所に迎えに行くのも嫌になり、「帰ったらすぐ夜になって、息子を寝かせて、寝たと思ったら泣いて起きる」その繰り返しになり、それが嫌で仕方ありませんでした。そのときもお母さん方が優しく私の話を聞いてくれたり、「うちの子はこうすると泣き止むよ」「今だけだよ！」と教えてくれたりし、そのとき私は「私だけではないんだ」ととてもほっとしたのと同時に心がすっきりしました。

トイレトレーニングについても「もうすぐ幼稚園に入るのにオムツがとれない」「誘ってもトイレに行こうとしない」と悩んでいる声も最近聞かれます。このこともお母さん同士と一緒に悩み、いろいろな方法を相談し合っている姿が見られます。私が幼稚園で働いている頃、壁にぶつかり、嫌になって辞めたいと思った時がありました。その時、先輩から「保育は答えがないからおもしろいんだよ！答えがないからいろんなことができるから楽しいんだよ」と言われました。その頃の私は余裕もないし、こうすれば大丈夫という“答え”、“結果”が欲しかったから先輩の言っている言葉の意味が理解できませんでした。その言葉の意味がわかったのは何度も失敗をくり返し、5年後のことでした。今回もその時と同じだと思いました。

子育てもいろいろな方法はありますが、子どもによって違うから答えがない。だからこそ、難しいけれど、でも…。日々、成長し、かわいい笑顔を見せてくれるから子どもといるのが楽しい、かわいいと思えるのだと思いました。そして、苦しい時こそ、誰かに話を聞いてもらうだけですっきりすることを実感しました。

たいむという一緒に子育てをしている人たちが集まる場所をただ子どもが遊ぶという場所ではなくお母さん方も肩の力を抜いて、リラックスできる場にもっとなるといいなと感じました。(の)

---

## ～アンサンブル演奏会へのお誘い～

附属幼稚園のアンサンブルサークルの方々が今年も演奏会を開いてくださるそうです。

日 時\*2月27日(木) 10:00~30分程度

場 所\*短大2号館 1階 リズム室

演奏曲\* ♪ハイホー ♪カノン ♪ドラゴンクエスト&マリオブラザーズ

♪忍たま乱太郎 「100%勇気」 ♪さんぽ